

公開シンポジウム

「魅力ある生産農学教育を目指して」

主催：日本学術会議 農学委員会 農学分科会
日本農学アカデミー
全国大学附属農場協議会

共催：日本作物学会、日本育種学会、園芸学会、
日本植物病理学会、日本土壌肥料学会

日時：平成29年9月8日（金）13:00～17:15

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

入場無料 最寄駅：東京メトロ千代田線 乃木坂(5番出口)

プログラム

1. 農学分野における教育編成上の参照基準
奥野員敏（学術会議連携会員、元筑波大学教授）
2. 生産農学における学部教育のあり方について
奥野員敏（前出）
3. 生産農学における教育目標とカリキュラム編成
（各大学における事例報告）
井上眞理（学術会議連携会員、九州大学名誉教授）
位田晴久（学術会議連携会員、宮崎大学名誉教授）
土井元章（学術会議連携会員、京都大学大学院教授）
夏秋啓子（学術会議連携会員、東京農業大学副学長）
4. 附属農場と連携した生産農学教育の意義と将来像
柴田道夫（全国大学附属農場協議会副会長、東京大学
大学院教授）
5. 受け入れ先からの期待
寺島一男（農研機構理事）
望月龍也（東京都農林総合研究センター所長）
永島 聡（全国農業協同組合連合会耕種総合対策部長）
鴨川知弘（サカタのタネABSアドバイザー）
6. パネルディスカッション
—魅力ある生産農学教育を実現するための教育目標とカリキュラム編成上の新たな視点とは？—

問合せ先：大杉立（日本学術会議会員、東京農業大学客員教授）
(r.ohsugi@gmail.com, 080-1018-9121)